

プレゼンテーションはなぜ重要なのか

- 成果を広く知ってもらおう

社会への貢献

公表しない研究は単なる自己満足

評価→予算・権限の獲得→より自由な研究、夢の実現

- 評価 = 結果 × プレゼンテーション

「結果 + プレゼンテーション」ではない

- 分かり易く説明するのは専門家の義務

良いプレゼンは非専門家が聞いても概要を理解できる

下手なプレゼンのコツ　－準備編－

- 要点(主題)がわからないように組み立てよう。
- 読む暇を与えないぐらいたくさんのスライドを準備しよう。
- 一枚のスライドにできるだけたくさんの図表を入れよう。
- 読めないように小さな字で書こう。
- それぞれのスライドにタイトルや結論を書いてはいけない。
- 箇条書きにせず、文書で書こう。
- 言及しない内容も入れておこう。
- 黄色や水色などの淡色をふんだんに使おう。
- 専門用語をたくさん使おう。
- 分かり易い例を示してはいけない。

下手なプレゼンのコツ　－準備編－

- 要点(主題)がわからないように組み立てよう。
- 読む暇を与えないぐらいたくさんのスライドを準備しよう。
- 一枚のスライドにできるだけたくさんの図表を入れよう。
- 読めないように小さな字で書こう。
- それぞれのスライドにタイトルや結論を書いてはいけない。
- 箇条書きにせず、文書で書こう。
- 言及しない内容も入れておこう。
- 黄色や水色などの淡色をふんだんに使おう。
- 専門用語をたくさん使いおう。
- 分かり易い例を示してはいけない。

下手なプレゼンのコツ ー当日編ー

- 聞こえないように小さな声で話そう。
- 眠くなるように抑揚をつけずに話そう。
- 特に、語尾をはっきりさせてはいけない。
- 聴衆と目を合わせずスクリーンに向かって黙々と話そう。
- カラオケの字幕のように指し示しながらスライドを読み上げよう。
- その代わりに、図表は指し示してはいけない。
- 興味を引くような「つかみ」を入れてはいけない。
- 語りかけるような口調も禁物。
- 猫背で自信がなさそうにしゃべろう。
- 身だしなみを整えてはいけない。

あなたの気持ちと聴衆の気持ちの違い

あなた	聴衆
たくさんしゃべりたい	要点だけ聞きたい できるだけ聞きたくなく できるだけ読みたくない
苦勞を知って欲しい	そんなことはどうでも良い

講演者の勝手な思いこみ

- 皆が自分の話題に興味を持っていると思いこんでいる。
- 皆が自分と同じぐらいの予備知識を持っていると思いこんでいる。
- それまでのスライドを全部覚えてくれていると思いこんでいる。
- 多色刷りにしてバックに凝れば良いプレゼンだと思いこんでいる。

上手なプレゼンをするための基本

1. 主題を絞る

- 10分で理解できることはせいぜい3つまで
(一つの主題を3つ以内のトピックスで説明)
- 主題を説明するのに最適な図表を作る
(既にある図表をならべるのはダメ。結論を先に考え、それを説明するのに最適な図表を作る)

2. 極力SDSの構成にする

Summary–Details–Summary

A is B because of the following reasons.

First,

Second,

Third,

Therefore, as A' is B', A is concluded to be B

だけど・・・。

I love you.

Because

You are kind,

You are reliable,

You are beautiful (handsome).

So, I'd like to take you out.

上手なプレゼンをするために

- スライド1枚で1分が目安
- 1分間にしゃべれるのは
漢字かな混じりで350字/分 まで
(NHKのアナウンサーは約400字/分)
英語では150 words/min
(CNNのアナウンサーは約200 words/min)
- 1枚に最大でも15行までに(このスライドがほぼ限界)
- Power pointなら原則24ポイント以上で書く
- 文書にせず、箇条書きで
- 余分な情報は入れない
書いたら説明する(例外: 実験条件や参考文献)
- 図表はシンプルに。
- カラー、アニメーション・・・過ぎたるは及ばざるがごとし

聴衆に与えられる時間は1枚につき1分しかないことを忘れない

紙ベースの論文ならこう書くのだが...

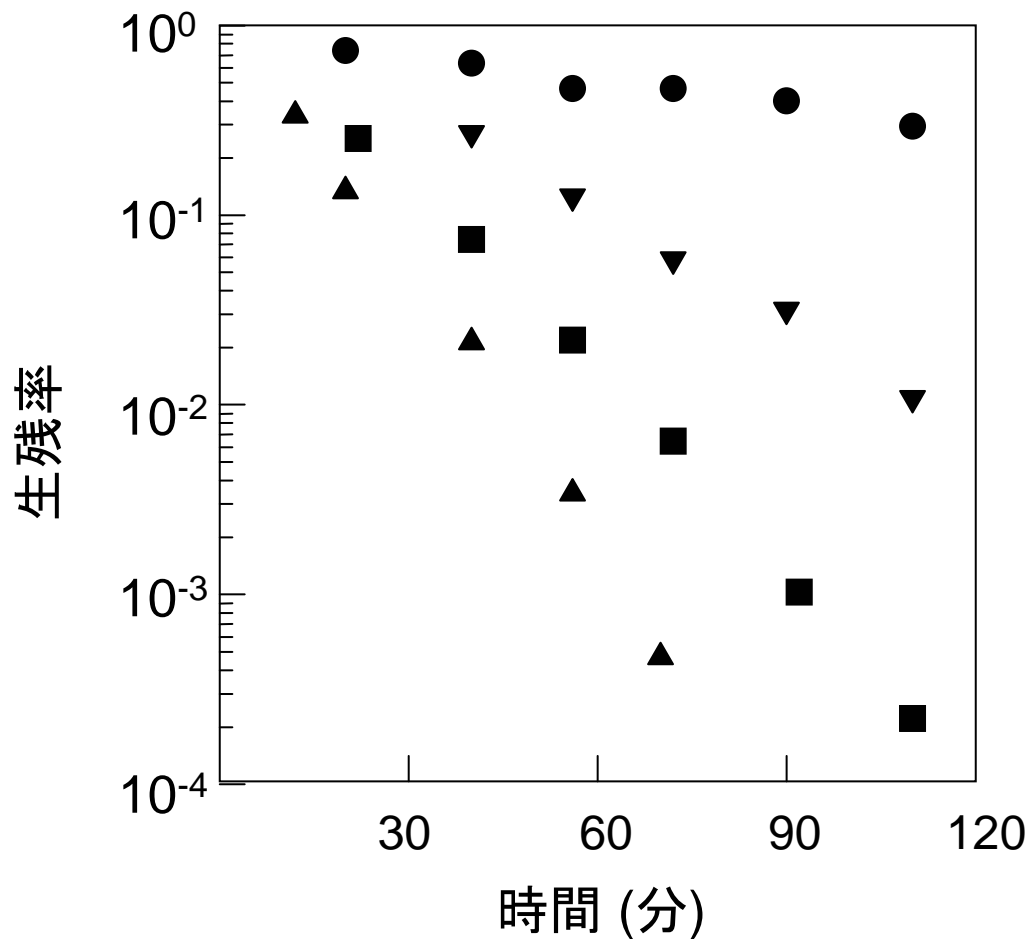


図 薬剤AとBによる大腸菌の死滅

- 薬剤A, pH 7
- ▼ 薬剤B, pH 7
- ▲ 薬剤B, pH 5
- 薬剤A, pH 5

色を変えてみても・・・。

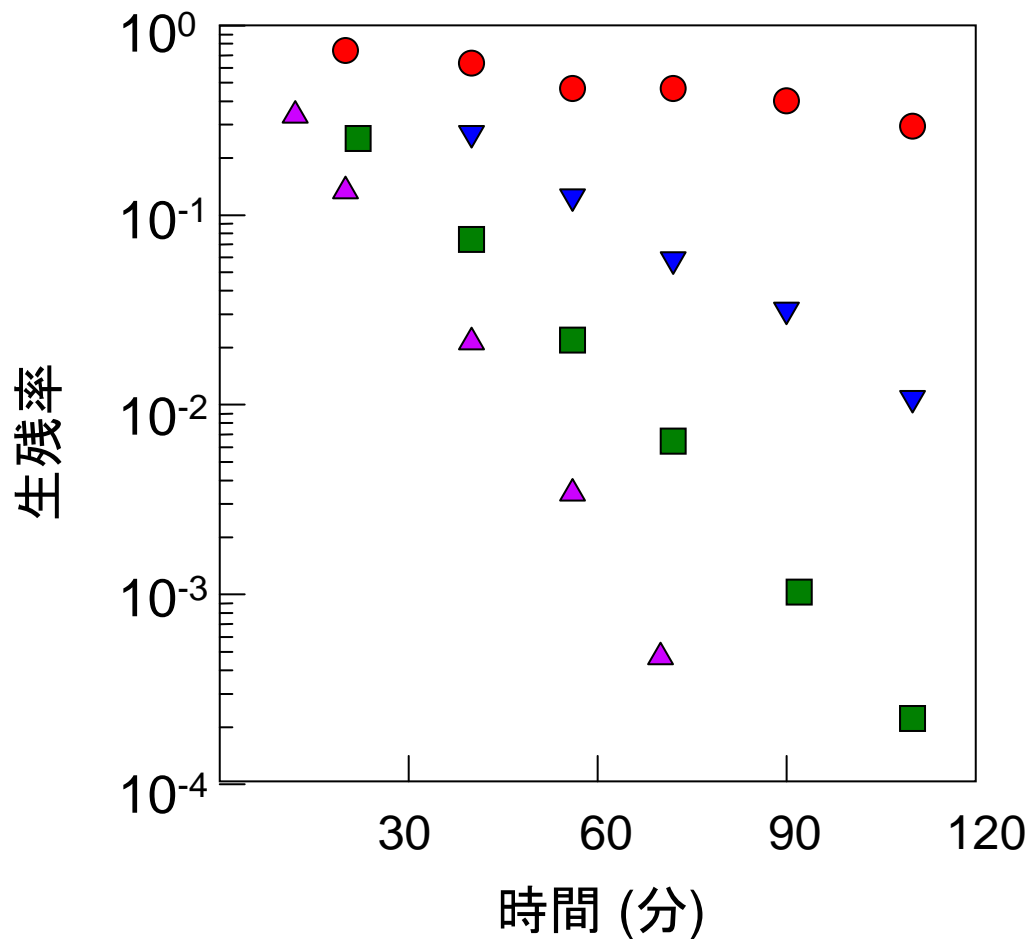


図 薬剤AとBによる大腸菌の死滅

- 薬剤A, pH 7
- 薬剤A, pH 5
- ▼ 薬剤B, pH 7
- ▲ 薬剤B, pH 5

グラフの横に説明を入れても・・・

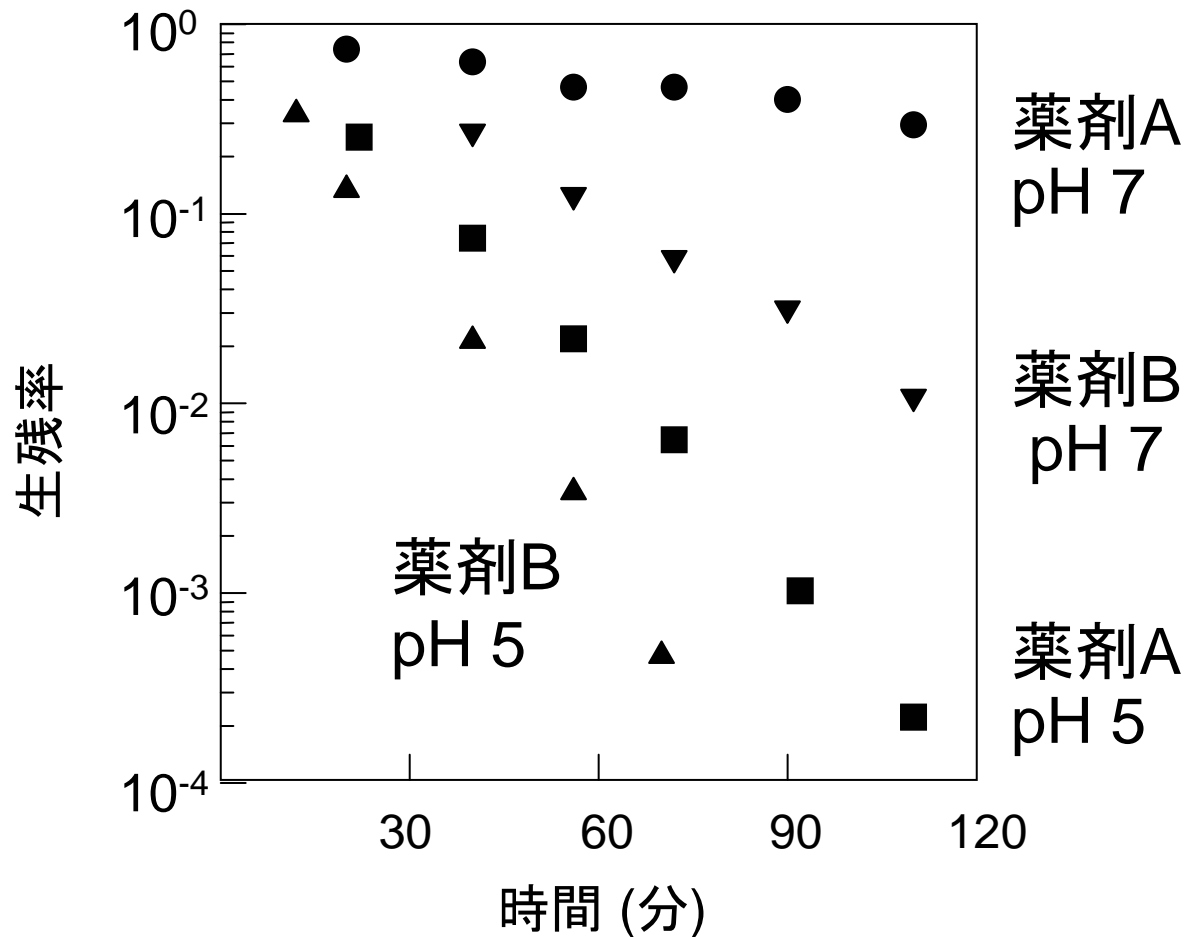


図 薬剤AとBによる大腸菌の死滅

さらに色を変えてみても、やっぱりわかりにくい。そこで、

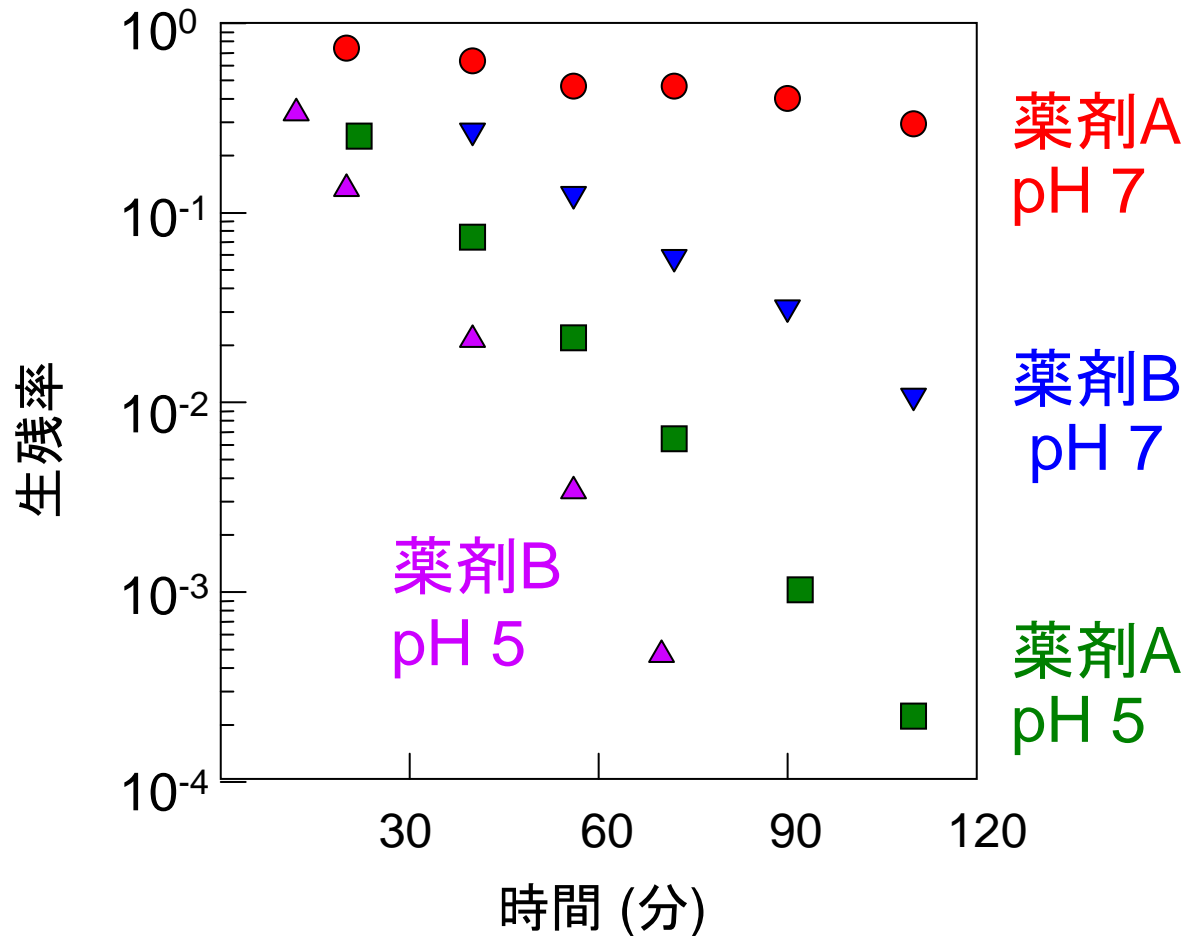


図 薬剤AとBによる大腸菌の死滅

伝えたい結論を先に考え、その表現に最適な図を作る。

どのpHでも薬剤Bの殺菌効果が高い

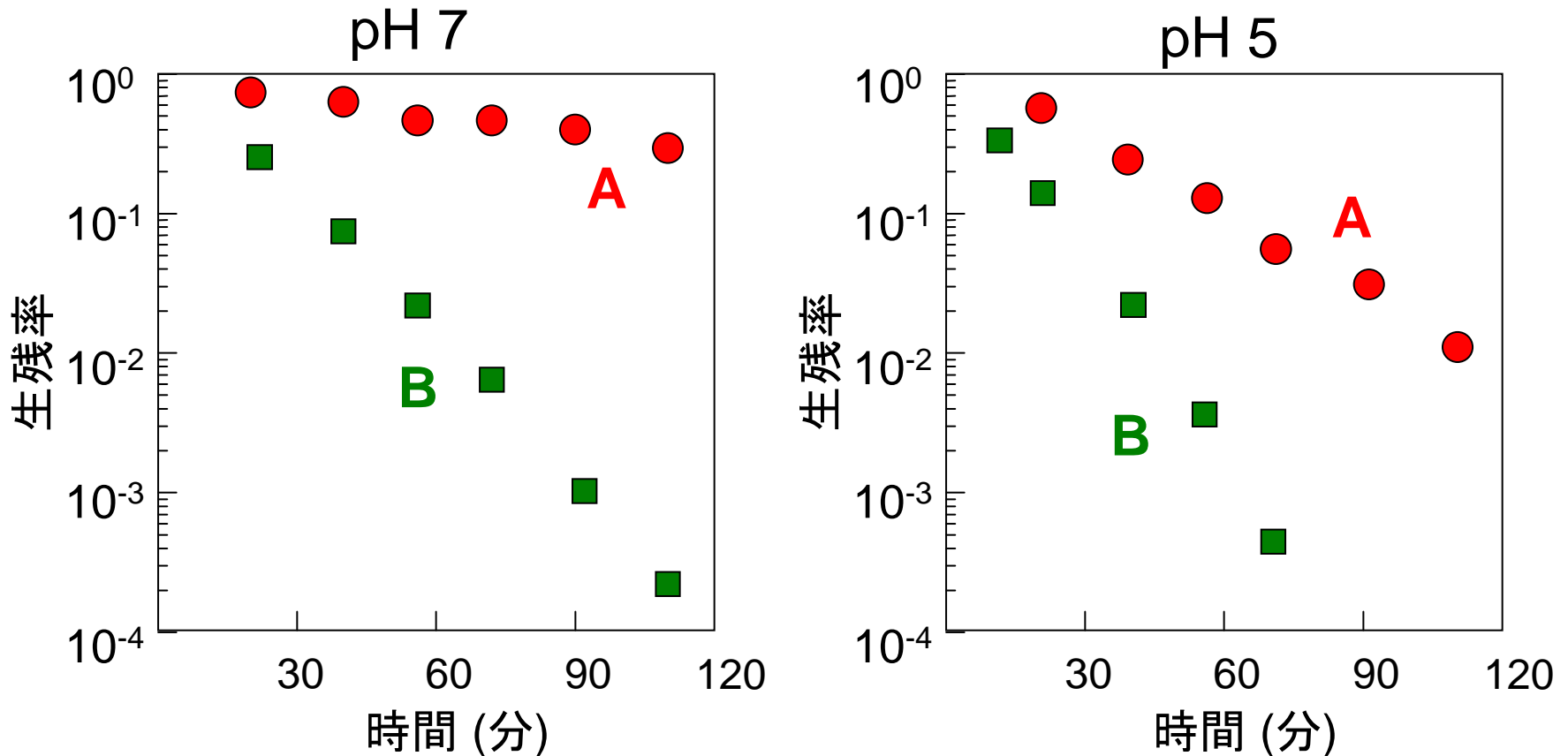


図 薬剤AとBによる大腸菌の死滅

ただし、これはダメ。なぜ？

どのpHでも薬剤Bの殺菌効果が高い

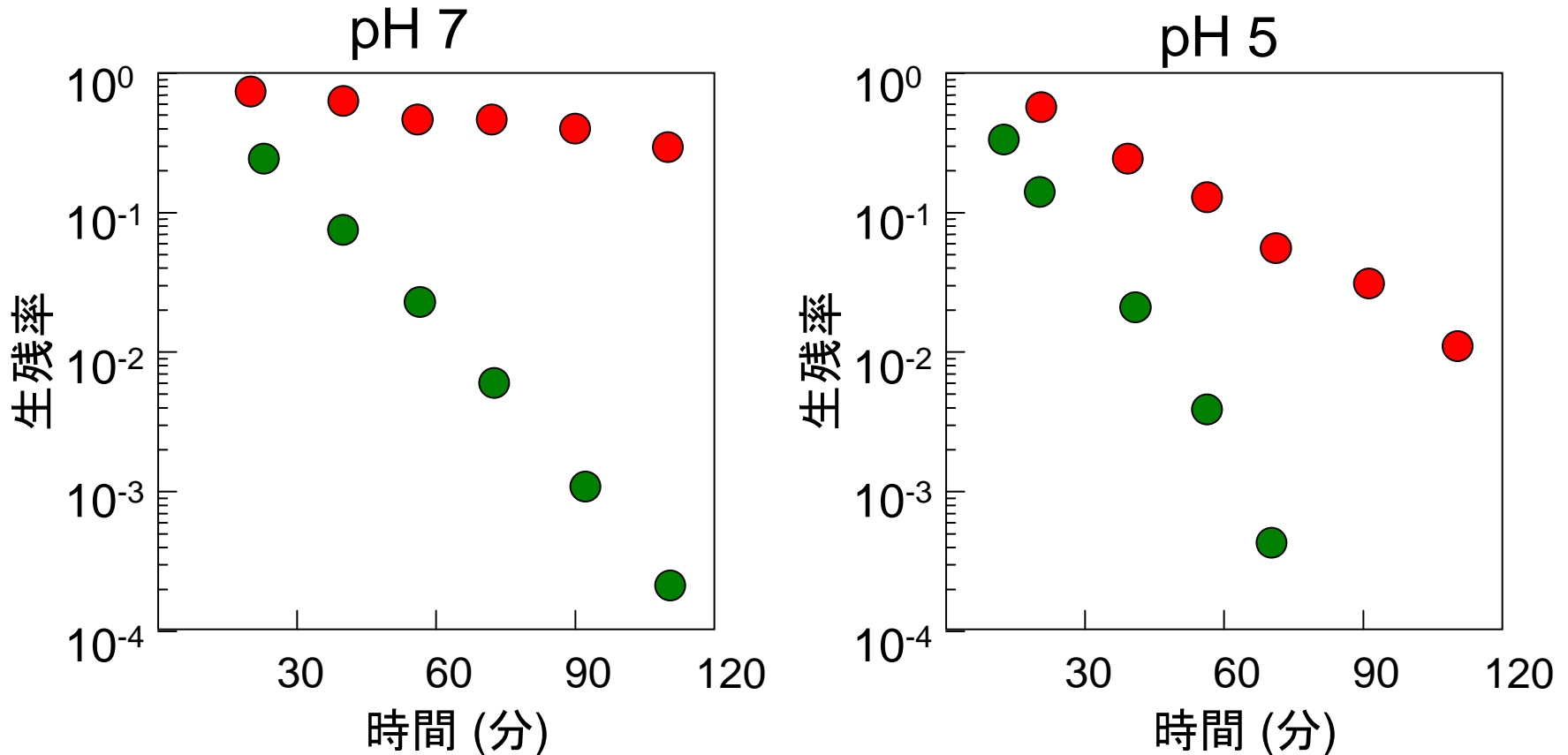


図 薬剤AとBによる大腸菌の死滅

色覚障がいの人が見ると...

どのpHでも薬剤Bの殺菌効果が高い

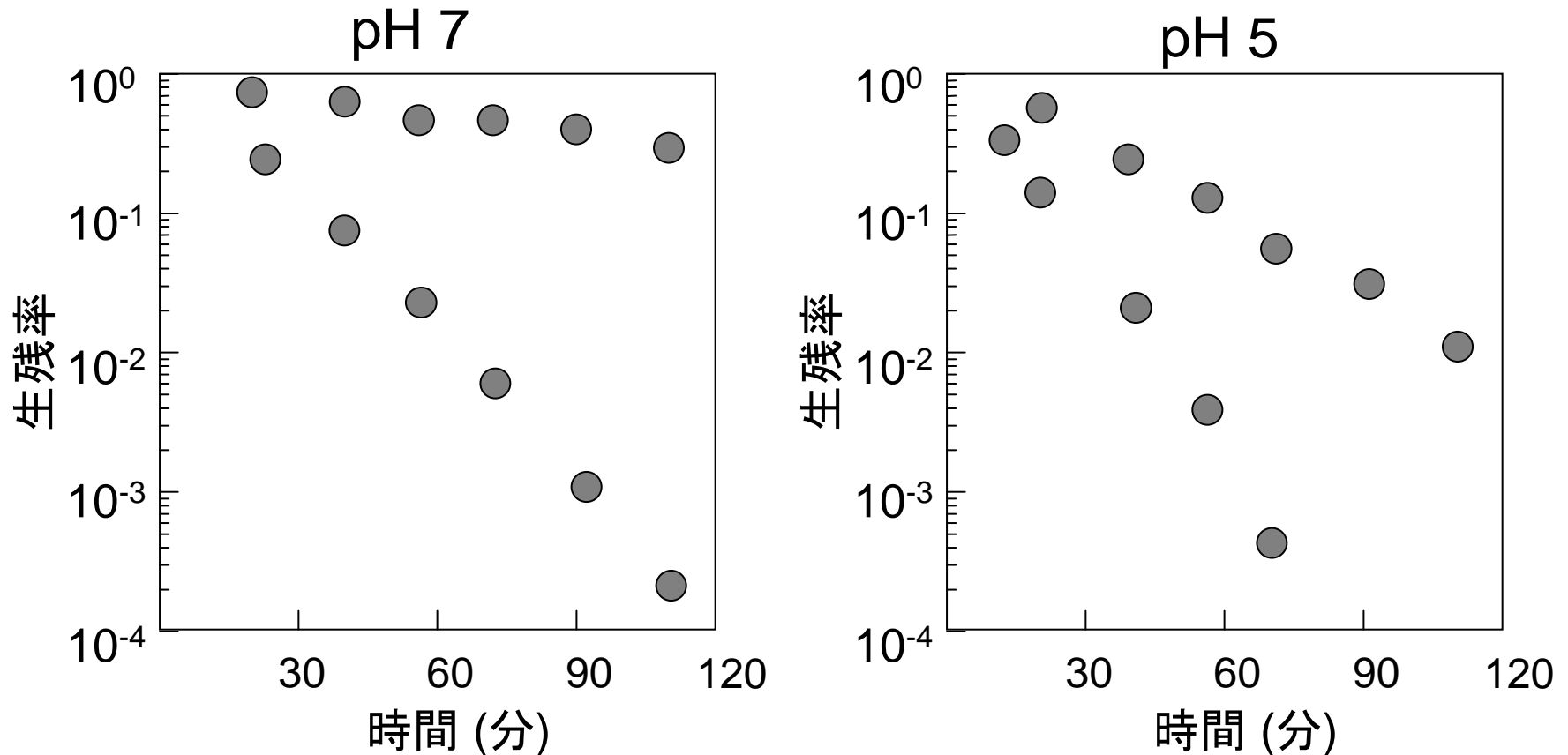


図 薬剤AとBによる大腸菌の死滅